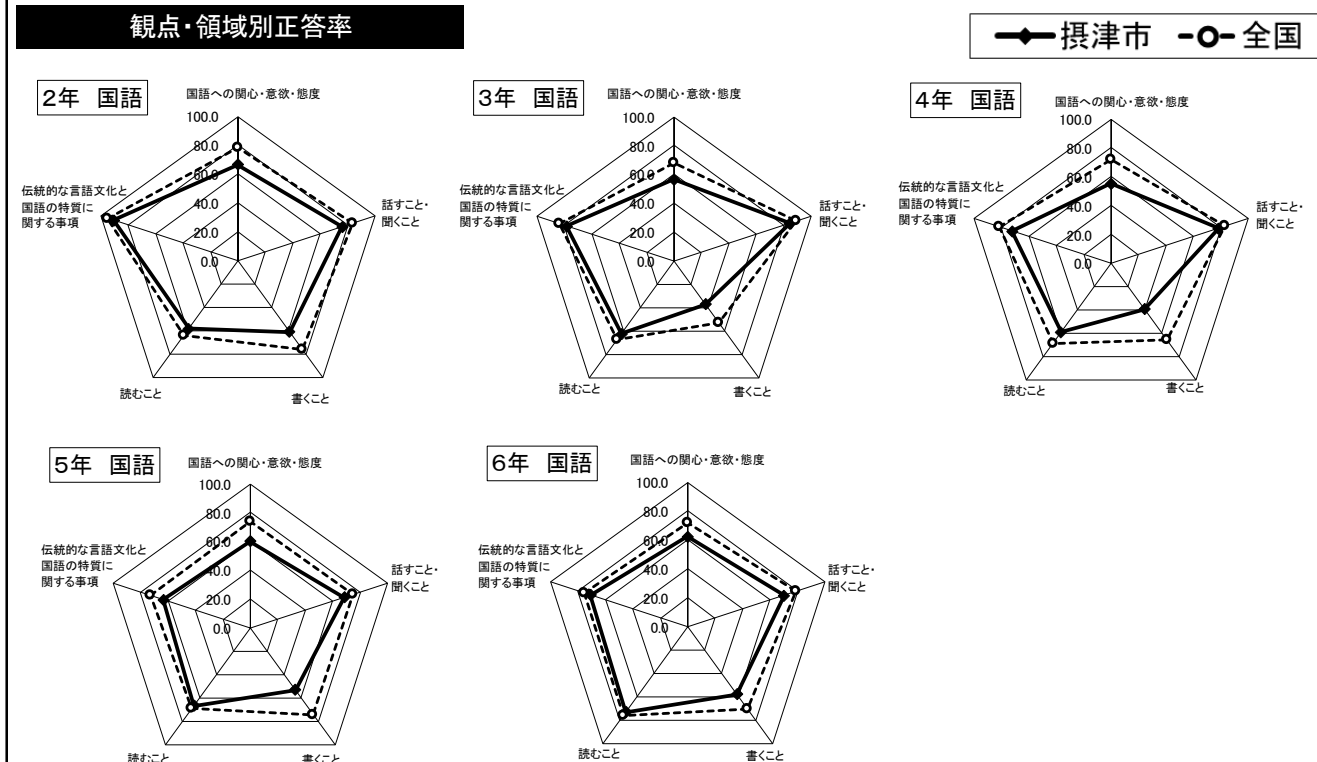
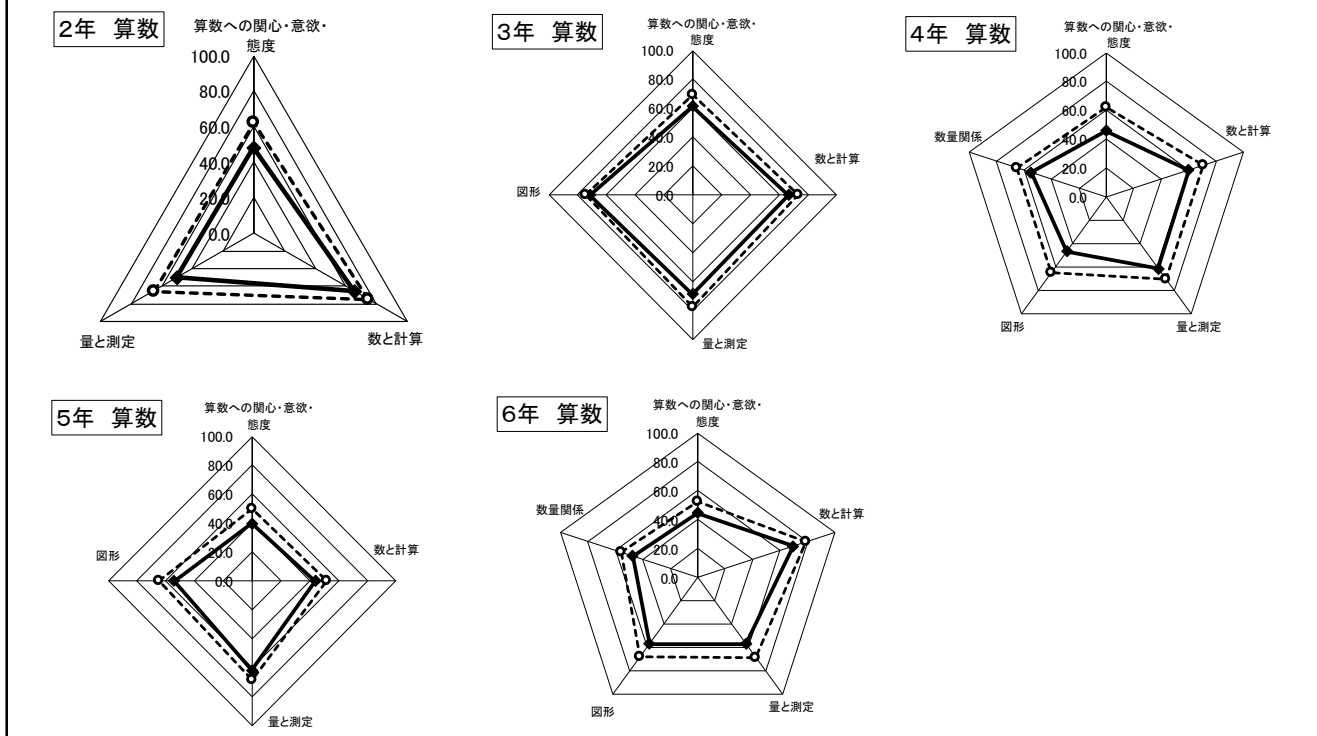


- (1) 調査の目的
 ○児童一人ひとりのこれまでの学習の定着状況や学習状況を把握して、取り組むべき課題を明確にし、個々の児童の指導に生かすこと。
 ○結果をもとに、各学校の学力向上や授業に関する取組み状況を検証し、指導体制及び指導計画の検討を図るとともに、教員一人ひとりの指導に生かすことで、学習指導の充実を図ること。
 ○本市教育委員会として、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本市児童の学力向上に資すること。
- (2) 調査の対象学年・児童数 市内10小学校 第1～6学年全児童 ※第1学年は質問紙調査のみ
 第1学年 675人 第2学年 714人 第3学年 724人
 第4学年 682人 第5学年 719人 第6学年 710人
- (3) 調査実施日 平成27年12月16日(水)
- (4) 調査の内容 委託業者の標準学力調査(3学期版)を実施
 ①教科に関する学習到達度調査(国語・算数の11月までの学習内容)
 ②生活・学習状況に関する質問紙調査



・国語における観点・領域別正答率について、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」及び「話すこと・聞くこと」、「読むこと」における全国参加者平均との差は小さい。
 ・全ての学年において、「書くこと」における全国参加者平均との差が大きく、4、5年生については、「国語への関心・意欲・態度」の観点においても大きな差が見られる。



・算数における観点・領域別正答率についても、全国平均を上回るものはなかったが、国語と比較すると、全国平均との差は小さい。
 ・2、4年における「算数への関心・意欲・態度」及び4、5、6年の「図形」において、全国参加者平均との差が見られた。

学習到達度調査の概要

平均正答率

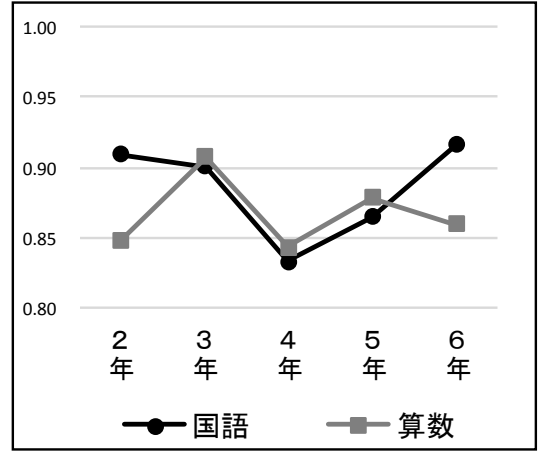
		2年	3年	4年	5年	6年
国語	全国参加者平均	81.2	73.6	75.2	72.3	74.9
	摂津市平均	73.8	66.3	62.6	62.5	68.6
算数	全国参加者平均	72.3	74.3	68.9	63.0	70.5
	摂津市平均	61.3	67.4	58.1	55.3	60.6

※正答率とは
 全問題数の内、何問正答したかをパーセントの形で表したものです。

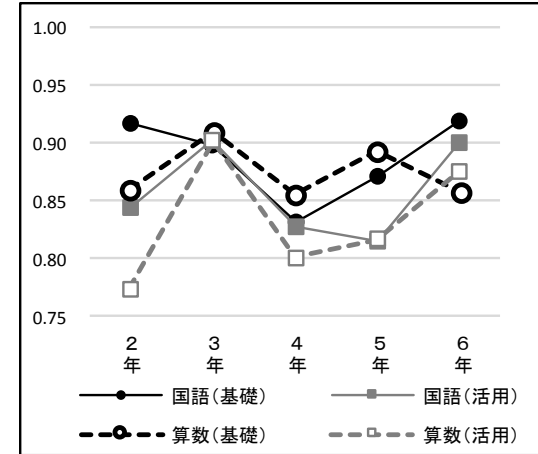
※全国参加者平均正答率とは
 本調査を実施した全児童の平均正答率を表しています。

※対全国参加者平均比とは
 全国参加者平均の数値を1としたときの摂津市の数値を表したものです。

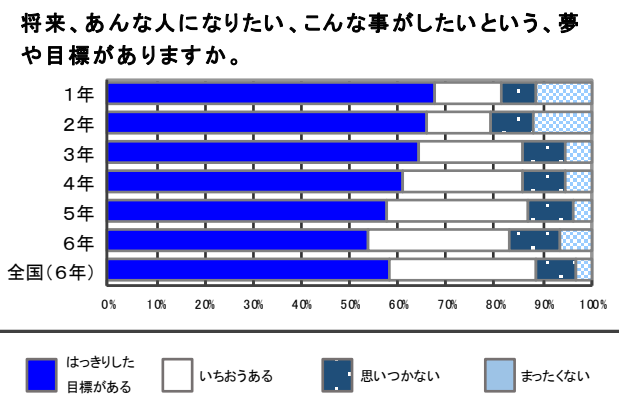
対全国参加者平均比(教科)



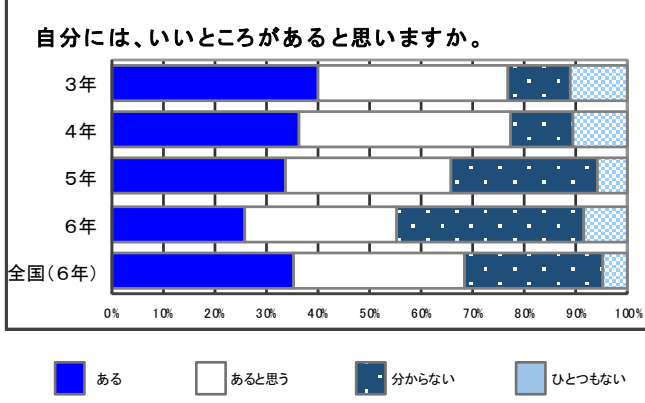
対全国参加者平均比(基礎・活用)



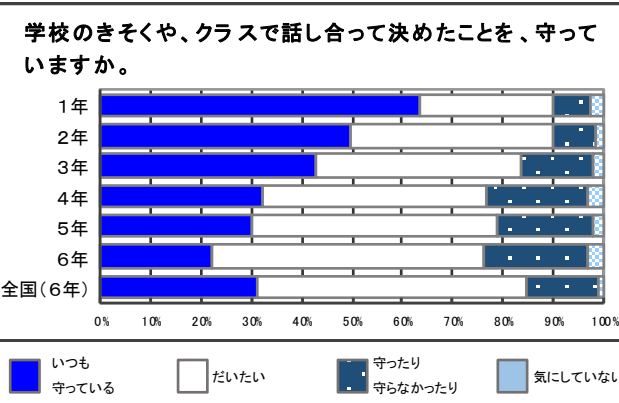
- ・正答率を全国参加者平均との比較で見ると、4年生における差が最も大きい。
- ・3～5年生については、国語・算数の教科間における全国参加者平均との差はほぼ同様であるが、2、6年生については、国語よりも算数の方が差が大きかった。
- ・正答率を基礎・活用の別で見ると、基礎よりも活用に関する問題の正答率が全国参加者平均との差が大きい傾向にある。
- ・3年生においては、基礎・活用の別による差は見られず、また、6年生においては、算数の基礎について、もっとも全国参加者平均との差が見られるという結果であった。



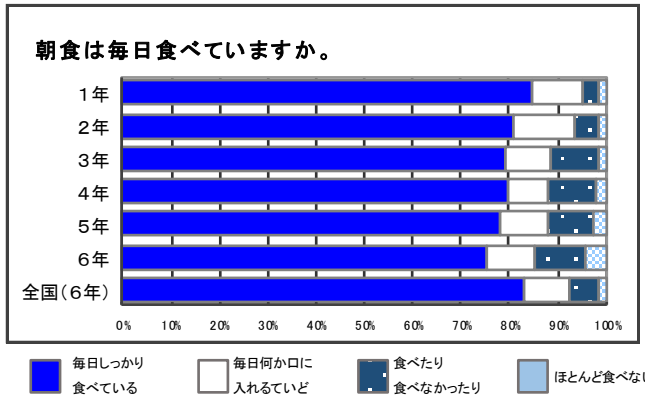
「ある」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていくが、「いちおうある」と答えた児童の割合を含めると、3～5年生で高くなる傾向が見られる。



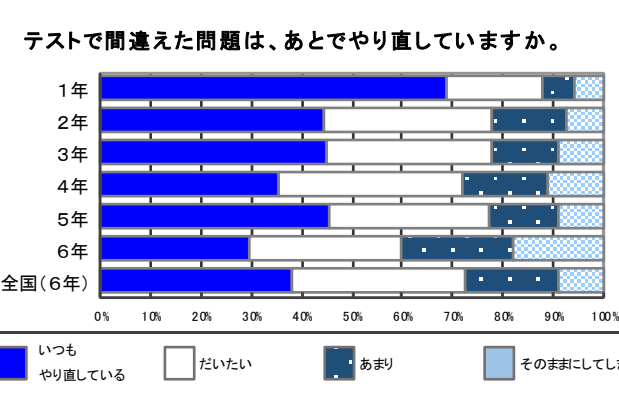
「ある」「あると思う」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていく傾向にある。6年生においては、全国平均の数値よりも、13.3ポイント低い。



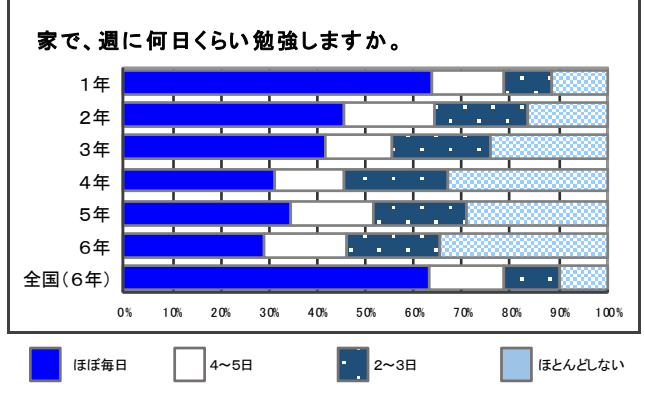
「いつも」「だいたい」守っていると答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていく。6年生において肯定的に答えた児童の割合は、全国の数値よりも8.5ポイント低い。



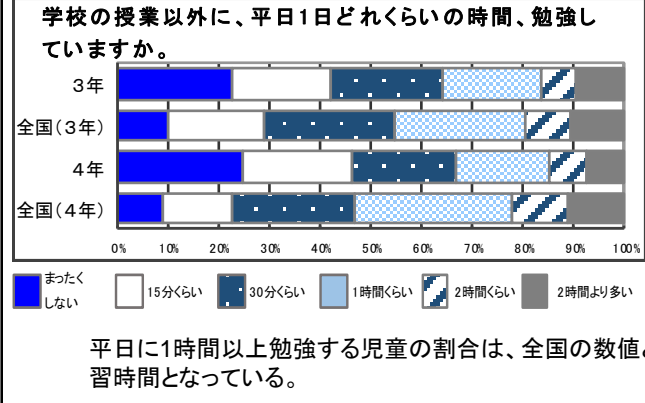
朝食を摂る児童の割合は、1年生では全国の数値とほぼ同様であるが、2年生から7ポイント低くなり、6年生まで全国の数値より5～8ポイント低くなっている。



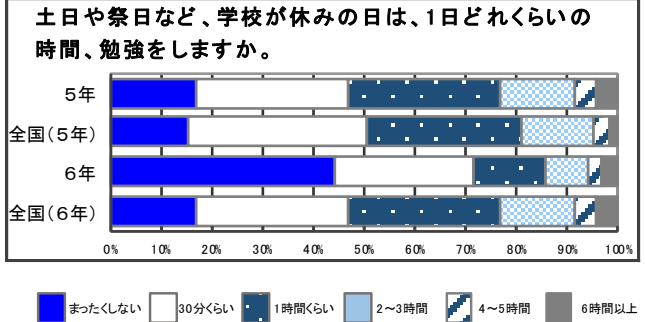
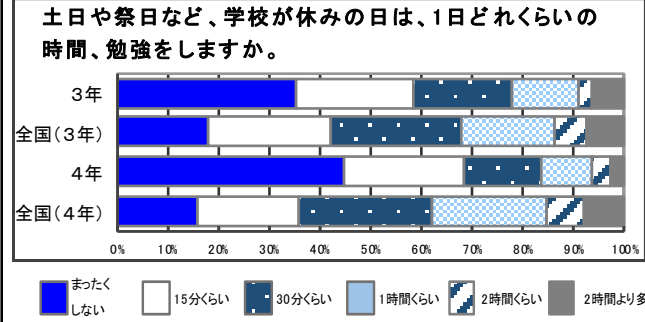
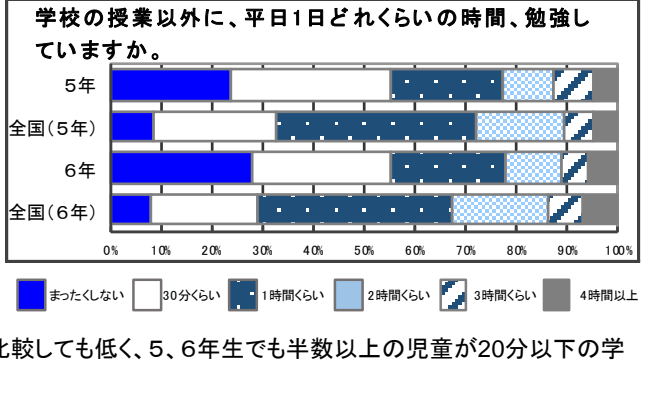
1、5年生では、「いつもやり直している」と答えた児童の割合が全国の数値よりも高い。全国との差が最も大きかったのは2年生であり、12.3ポイント低い。



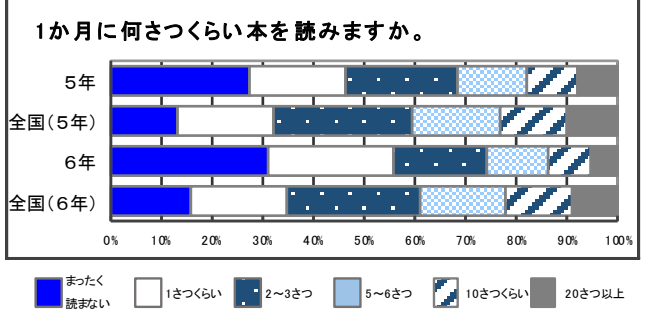
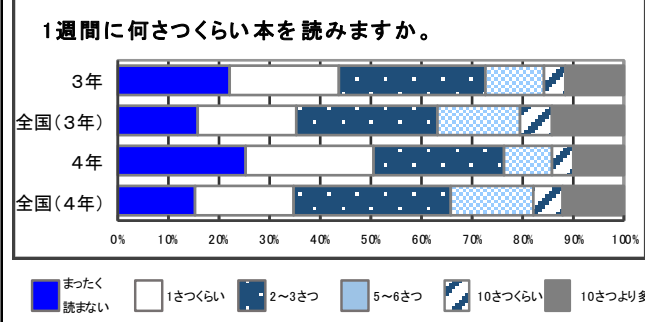
週に4日以上勉強する児童の割合は、2年生では全国の数値より約20ポイント低く、学年が上がるに差が開き、6年生では約30ポイント低いという結果である。



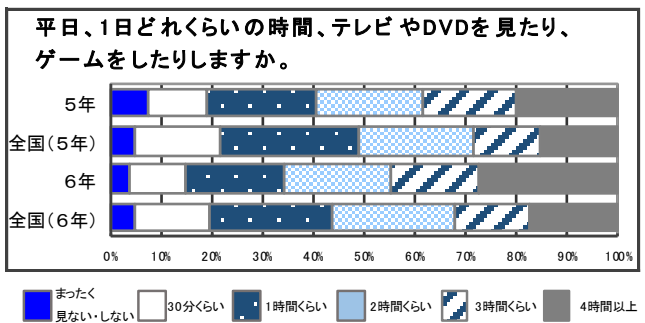
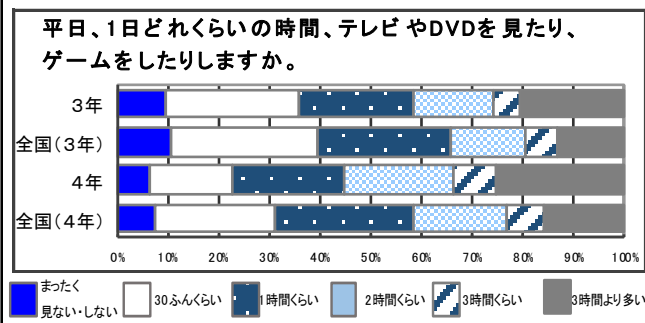
平日に1時間以上勉強する児童の割合は、全国の数値と比較しても低く、5、6年生でも半数以上の児童が20分以下の学習時間となっている。



休日の学習時間も、平日同様に全国の値との差が大きく、特に4、6年生では40%以上の児童がまったく勉強をしていない。5年生については、比較的全国の数値と近い割合となっている。



読書習慣についても学習習慣同様、全国の数値との差が大きい。特に、5、6年生ではまったく読まない児童の割合が全国の数値のほぼ2倍である。



全国と比較して、どの学年も長時間テレビ、ゲーム等に時間を使う傾向にある。特に4、6年生では、全国では「1時間くらい」と答えた層が最も多いが、本市では「3時間より多い/4時間以上」と答えた層が最も多い結果であった。